

1. 事件後に発出した渡航情報

(1) 広域情報 (17日) :

邦人を含む外国人拘束事案発生に伴う注意喚起

(2) 危険情報引き上げ(18日) :

アルジェリア、ニジェール、モーリタニア、ブルキナファソ

(3) テロの脅威に関する注意喚起 (19日) : アルジェリア

(4) 広域情報(21日) :

テロの脅威に関する注意喚起

(5) 危険情報引き上げ (22日) : マリ

(6) 広域情報(23日) :

イスラム過激派武装集団によるテロの可能性に関する注意喚起

(7) テロの脅威に関する注意喚起(24日) : リビア

2. 早期に官民安全対策協議会を行うことを指示した関係公館数 :

アフリカ、中東、中南米をはじめとする 148 公館